
演習2：ジグソー法

「ジグソー法」と呼ばれる教育方法を体験する。ジグソー法の説明を行ったあと、グループ分けして実際にジグソー法の演習を行う。演習後、ジグソー法の特徴や利点、問題点、どのような場面で効果的に活用できるかなどについて議論する。

ジグソー法の演習は、教育の方法や技術について学ぶという場面を想定して実施する。そのため、演習で用いる教育方法だけでなく、その教育方法で自分たちが何を学習しているのか、その内容にも意識を向けながら参加することを求める。

本時の最後には宿題を課す。これは次時の反転学習（反転授業）の演習につながるものであるため、必ず取り組むこと。

◆ジグソー法

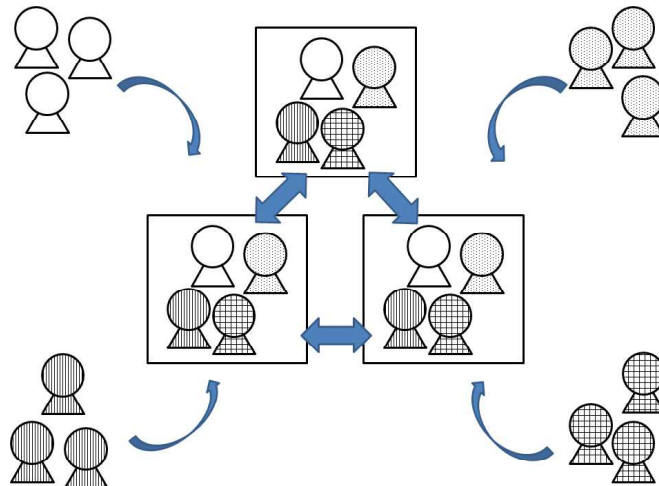
○ジグソー法とは何か

- あるテーマについて複数の視点で書かれた資料をグループに分かれて読み、自分なりに納得できた範囲で説明を作って交換し、交換した知識を統合してテーマ全体の理解を構築したり、テーマに関連する課題を解いたりする活動を通して学ぶ、協調的な学習方法の一つ

（東大 CoREF ウェブサイトより）

- 1つの長い文章を3つの部分に切って、それぞれを3人グループの1人ずつが受け持って勉強する。それを持ち寄って互いに自分が勉強したところを紹介しあって、ジグソーパズルを解くように全体像を協力して浮かび上がらせる手法

（熊本大学大学院授業科目「基盤的教育論」ウェブサイトより）



◆ジグソー法演習

○本日の教材

- ・教材「今日本はなぜハイブリッドカーで勝負しているのか」
- ・東京大学 大学発教育支援コンソーシアム (CoREF) ウェブサイトで公開中
<http://coref.u-tokyo.ac.jp/>
- ・宮崎県五ヶ瀬町立上組小学校、鞍岡小学校の5年生を対象として実際に使われた教材

○演習1：エキスパート活動 (A～Cの3グループ)

- ・同じ資料を読み合うグループを作り、その内容や意味合いを話し合い、資料を読んでいる他のグループの人たちにうまく説明する準備をしよう
- ・活動のポイント (例)
 - ・担当の資料では何が語られているのか？何を伝えたいのか？
 - ・ガソリン車、ハイブリッドカー、電気自動車それぞれのメリットは何か？デメリットは何か？
 - ・書かれている内容に対する自分たちの意見は？(グループで統一する必要はない)

○演習2：ジグソー活動 (3人一組のグループ)

- ・違う資料を読んだ人を一人ずつ合わせて新しいグループを作り、担当した資料を互いに説明し合おう
- ・活動のポイント (例)
 - ・資料を読んでいる仲間に的確に「事実」を伝えられているか？
 - ・資料の要点は的確か？
 - ・資料に対する自分たちの意見を簡潔に説明できたか？その根拠を説明できたか？
 - ・他の仲間の意見を傾聴し、理解できたか？

○演習3：グループ発表

- ・各グループでまとめた教材の要約と、それに対する意見を発表しよう
- ・活動のポイント (例)
 - ・グループ内の意見などを簡潔にまとめ、紹介できたか？
 - ・自分たちと他グループの同じところ、違うところに気づけたか？

◆本日の宿題

○反転授業体験

- ・次回授業までに、下記ウェブページを参照して宿題に取り組むこと。

<http://lecture.e4serv.net/>

「【教育の方法と技術】2015 年度前期「反転授業」宿題」ページを参照

- ・宿題の注意（抜粋：詳細は上記サイト参照）
 - ・オンラインでビデオを視聴し、自修する課題である。できる限りパソコンで視聴すること。
 - ・ビデオは 45 分あるが、どうしても時間がない場合は、冒頭から視聴できるところまでのみでもよい。
 - ・配付したテキスト資料を読みながら視聴することを強く推奨する。また、時間がなく一部しか視聴できない場合も、テキスト資料は全て読むことが望ましい。
 - ・宿題に取り組まないと次回授業についてこれないので、必ず取り組むこと。